

発刊にあたって

三重県は日本列島のほぼ中央部に位置し、南北に細長く山と海に挟まれた複雑な地形により、多様で豊かな自然環境が形成され、様々な野生動植物が育まれてきました。私たちは、これらの豊かな自然から多くの恩恵を受け、人と自然が共生する生活を営んでいます。

この三重県の豊かな自然環境に対する関心と理解を深め、後世へと引き継いでいくために、県では平成18年3月に「三重県レッドデータブック2005」を発刊し、生物多様性の確保や自然環境の保全の取組における基礎資料として、広く活用いただけてきました。

しかし、近年の産業活動や生活様式の変化による自然環境への負荷の高まり、里地里山等の手入れ不足の影響、外来種の侵入による捕食等により、多くの野生動植物は依然として絶滅の危機に直面しています。

本県では、「県民力でめざす"幸福実感日本一"の三重」を基本理念とした総合計画「みえ県民力ビジョン」の政策の一つに「環境を守る持続可能な社会」を位置づけ、県民生活や事業活動の中で自然環境への配慮が浸透し、自主的に保全・再生活動が進められることにより、三重県の豊かな自然が継承されることを目指しています。また、平成24年3月には『みえ生物多様性推進プラン』を策定し、生物多様性の保全について計画的に取り組みを進めているところです。

こうした施策の一環として、野生動植物の生息生育状況に関する最新の情報を反映させるため、平成23年度から専門家による協力のもと現地調査等を行い、検討作業を進め、このたび「三重県レッドデータブック2015」としてとりまとめました。

希少野生動植物種やその生息環境を守っていくためには、県民の皆様一人ひとりの自然環境に配慮した行動や、地域での主体的な取組が必要です。そのような取組を進め、人と自然とのつながりを再生し、県民の皆さんが自然からの恩恵を享受することで、「"幸福実感日本一"の三重」を創っていきたいと考えています。

本書の活用により三重県の貴重な野生動植物とその生息環境が将来に引き継がれていくことを期待しております。

終わりに、「三重県レッドデータブック改訂委員会」及び「専門部会」の委員の皆様をはじめ、作成にご協力頂きました方々に深く感謝申し上げます。発刊にあたってのご挨拶といたします。

平成27年3月

三重県知事